

## 先端和漢診療学寄附講座 研究・教育成果概要

先端和漢診療学寄附講座 開講期間 平成 17 年 5 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日

### 講座在籍教員及び職員

客員助教授	檜山 幸孝	平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 30 日
客員准教授	並木 隆雄	平成 17 年 10 月 1 日 ～ 平成 22 年 5 月 31 日
客員准教授	関矢 信康	平成 17 年 5 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
客員准教授	笠原 裕司	平成 17 年 10 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日
寄附講座教員	地野 充時	平成 17 年 5 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日
寄附講座教員	林 克美	平成 17 年 10 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 30 日
寄附講座教員	久永 明人	平成 20 年 4 月 1 日 ～ 平成 21 年 9 月 30 日
寄附講座教員	岡本 英輝	平成 21 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日
寄附講座教員	平崎 能郎	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日
技術補佐員	大野 賢二	平成 17 年 5 月 9 日 ～ 平成 22 年 3 月 30 日
技術補佐員	佐藤 友里恵	平成 22 年 4 月 1 日 ～ 平成 23 年 3 月 31 日
事務補佐員	竹田 慶子	平成 17 年 7 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 30 日
事務補佐員	作本 美和	平成 18 年 11 月 1 日 ～ 平成 23 年 4 月 30 日

### 大学院医学研究院 和漢診療学研究領域

教授	寺澤 捷年	平成 17 年 4 月 1 日 ～ 平成 22 年 3 月 31 日
准教授	並木 隆雄	平成 22 年 6 月 1 日 ～

(身分は退職時)

### 講座研究概要

「木を見て森を見ず」という諺がある。西洋医学は木（病気）を見ることに優れているが、ともすると森（病人）を見失う傾向がある。一方、漢方医学は森を見ることは得意だが、木を見る技術を持たずに発達してきた。森を見て木を見る医療、これが「和漢診療学」である。私たちは東洋医学と西洋医学、それぞれの短所を補い、長所を活用して、最善の医療を提供することを目指し、その基盤となる漢方医学そのものの理解、その科学的裏付けを研究・教育の基本的目標とした。

当先端和漢診療学寄附講座は、大学院医学研究院和漢診療学研究領域と一体となって教育・研究・診療に当たった。また、柏市の千葉大学・環境健康フィールド科学センター「柏の葉診療所」とも連携して、環境をも視野に入れて幅広く「健康」を考えて行く方針で講座研究を推進した。

さて、漢方薬を漢方医学的な病態に基づいて適正に使用するためには、漢方医学的基礎概念の習得とともに漢方臨床に根ざした研修を必要とする。にもかかわらず、本邦におい

てこれを体系的に習得しうる場は未だに十分整備されているとは言い難いのが現状である。そのため、本学大学院医学研究院に、和漢診療学研究領域が設置され、それを側面から補助する目的で、当先端和漢診療学寄附講座が、(株)ツムラからの寄附金により設置された。当寄附講座の活動は、和漢診療学研究領域及び医学部附属病院和漢診療科の活動と一体となって行い、不可分であるため、これらを一体として以下記載することとする。

各年度における研究進歩は、以下の通りである。

初年度（平成 17 年 5 月～平成 18 年 3 月）

**臨床：**4月に寺澤捷年が和漢診療学研究領域教授に着任、先端和漢診療学寄附講座に5月より、関矢信康・地野充時・大野賢二・竹田慶子が、10月からは並木隆雄・笠原裕司・林 克美が相次いで着任した。大学病院の診療はまだ始っていなかったため、まず、本学柏の葉診療所の診療に従事することとした。これにより、同診療所は従来午前のみの一診体制であったが、木曜日以外は終日診療が可能となり、火・金曜日は二診体制で診療に当ることが可能となった。

また10月1日付けで医学部附属病院に和漢診療科が発足し、同月17日より外来診療を開始した。同時に、病棟診療開始に向け、入院患者への煎じ薬投与の準備を進めた。

さらに、連携病院（当講座からの出向外来）として、10月より稲毛サティクリニック和漢診療科外来および国保成東病院和漢診療科外来、聖隷佐倉市民病院和漢診療科外来を開設した。

**研究：**漢方医学教育におけるグローバルスタンダードの構築を達成するには、証をより客観的なものとする必要がある。このため我々は漢方薬の薬理作用の研究および漢方診療における臨床エビデンスの集積について取り組み、公的な競争的研究費取得についても積極的に参加した。

[主な研究テーマ]

1. 漢方診療における臨床エビデンスの集積

(1) 千葉大学医学部附属病院和漢診療科および千葉大学柏の葉診療所での漢方診療有効症例の詳細な解析に基づくエビデンスの集積

2. 漢方医学教育におけるグローバルスタンダードの構築

(1) 漢方医学研修による教育効果に関する検討

(2) 傷寒論・金匱要略を中心とする古典の解釈に関する検討

**教育：**医学部附属病院全看護師・薬剤師・事務職員向けに、漢方医学の基礎講座を数回実施した。

第2年度(平成 18 年 4 月～平成 19 年 3 月)

**臨床：**院内での煎じ薬投与が可能となり、6月より他科入院患者に対する対診治療を、9月

より当科の入院診療を開始した。(旧)8階東病棟に1床)

また、院内活動として、並木隆雄・笠原裕司が褥瘡対策チーム、関矢信康・林克美が緩和ケア支援チーム、並木隆雄・林克美が感染対策チームにそれぞれ所属し、漢方治療併用を開始した。

さらに、4月から1年間、檜山幸孝が加わって柏の葉診療所を中心に診療を行った。(年度末退職)

連携病院(当講座からの出向外来)として、4月より佼正病院(東京都中野区)漢方外来を開設した。

**研究:**前年の研究を引き続き実施した。

**教育:**医学部6年次学生の強い希望により、本年度よりクリニカルクラークシップ受け入れを開始した。

医学部6年次学生に対する臨床講義も始まった。

今年度、当講座初めての大学院生1名が入学した。

臨床研修登録医(3名)、医師(3名)及び学生(11名)の短期見学の受け入れを開始した。

当科担当病棟看護師向けの漢方医学基礎講座を数回実施した。

第3年度(平成19年4月～平成20年3月)

**臨床:**4月より、医学部附属病院和漢診療科では新たに来村昌紀(医員)・橋本すみれ(医員)・小川恵子(旧姓落合=後期研修医)・王子剛(後期研修医)の4名の医師が診療に参加した(主に病棟患者を担当)。

10月より、来村昌紀、橋本すみれ両医師が、1月より小川恵子医師が、それぞれ外来診療を開始したため、新患・再来数ともに増加傾向となった。また、入院診療は、入院希望患者の増加により、平均200%前後の稼働率を示した。

感染対策チームには来村昌紀が、緩和ケアチームには橋本すみれが、褥瘡対策チームには地野充時・小川恵子・王子剛がそれぞれ新たに所属し、活動を開始した。なお、王子剛は、内科研修のため9月末で関連病院(鹿島労災病院)に転勤、林克美が年度末をもって退職した。

柏の葉診療所の補助業務は、前年度末の檜山幸孝の退職に伴い、並木隆雄・関矢信康が隔週月曜の診療を引き継いだ。連携病院(当講座からの出向外来)の中で、聖隷佐倉市民病院和漢診療科外来が患者の漸増により週一回では賄いきれなくなり、10月より週2回に増設した(小川真生研修生)。

**研究:**前年の研究を引き続き実施した。

**教育:**今年度も医学部6年次生のクリニカルクラークシップを9名受け入れ、医学部6年次学生に対する臨床講義も引き続き行った。

また、臨床研修登録医(2名)、医師(6名)および学生(11名)の短期見学を受け入れ

た。

さらに、本年度より、千葉大学医学部附属病院初期研修の研修科として、初期研修医（1名）の受け入れを開始した。

卒後教育の一環として、また漢方医学の啓発活動の意味合いも込めて市民公開講座を行い、前年に引き続き当科担当病棟看護師向けの漢方医学基礎講座を数回、病院全看護師向け講義を1回、実施した。

第4年度（平成20年4月～平成21年3月）

**臨床：**新たに、奥見裕邦（後期研修医）、木俣有美子（後期研修医）、島田博文（後期研修医）の3名の医師が診療に参加した。また、久永明人が着任し、柏の葉診療所にて診療を開始した。

前年度までの和漢診療科割当病床は1床であったが、常に約200%の病床稼働率を示したため、本年5月の新病棟開設に伴い、2床に増床となった。それにより、平均100%前後の稼働率を示した。

10月より、奥見裕邦・木俣有美子両医師が、外来診療を開始したため、新患・再来数ともに増加傾向を示した。院内活動として、緩和ケアチームに木俣有美子が所属した。

なお、島田博文は、内科研修のため9月末で関連病院（鹿島労災病院）に転勤、橋本すみれが年度末で退職した。

柏の葉診療所の補助業務は、並木隆雄・関矢信康に代わり、笠原裕司・地野充時が診療を引き継いだ。（年度末で終了）

**研究：**前年までの研究に加え、

1) 千葉大学大学院薬学研究院高齢者薬剤学 上野 光一教授との共同研究で、「根拠に基づく更年期障害治療推進のための洋漢統合医学的エビデンスの構築」（研究代表者 並木隆雄。厚生労働省科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業）を、及び、

2) 千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター 三宅洋一教授との共同研究で、

「低コスト、低侵襲、高性能な生活習慣病診断用新規デバイスの開発・実用化」（研究分担者：並木隆雄。文部科学省 都市エリア産学官連携促進事業プロジェクト千葉・東葛エリア「発展型」事業 地域イノベーションクラスタープログラム）の2件の研究を開始した。

**教育：**本年度も医学部6年次生のクリニカルクラークシップを12名を受け入れ、医学部6年次学生に対する臨床講義も引き続き行った。

また、医学科1年次講義1コマ、4年次講義4コマ、3年次生の見習い実習（2名）も始まった。

前年同様、初期研修医（10名）、臨床研修登録医（3名）、医師（11名）及び学生（7名）の短期見学を受け入れた。今年度、さらに大学院生2名入学し、3名となった（内1名は年

度末で中退)。

当科担当病棟看護師向けの漢方医学基礎講座を数回、病院全看護師向け講義を1回、市民公開講座を数回実施した。

第5年度(平成21年4月～平成22年3月)

**臨床：**本年度より、新たに岡本英輝、植田圭吾(後期研修医)、島津健吾(後期研修医)の3名の医師が診療に参加した。入院診療は平均90%前後の病床稼働率を示した。

外来部門では、7月より岡本英輝が、10月より植田圭吾がそれぞれ開始した。

院内活動として、緩和ケアチームに小川恵子が所属した。

なお、島津健吾は、内科研修のため9月末で関連病院(鹿島労災病院)に転勤、代わって王子剛が2年間の鹿島労災病院における内科研修を修了して帰院した。また、9月末をもって久永明人が筑波大学精神医学教室に転出、年度末をもって寺澤捷年教授が定年退職された。それに合わせて、関矢信康、大野賢二、大野慶子(旧姓竹田)も退職した。

柏の葉診療所の補助業務は、前年度末で笠原裕司・地野充時が終了し、月1回の寺澤捷年の外来(年度末で終了)及び、並木隆雄の更年期障害専門外来のみとなった。

**研究：**前年の研究を引き続き実施した。

**教育：**本年度も医学部6年次生のクリニカルクラークシップ8名を受け入れ、医学部6年次学生に対する臨床講義、医学科1年次講義、4年次講義、3年次生の見習い実習(2名)、薬学部4年次講義7コマも行った。

初期研修医(6名)、臨床研修登録医(5名)、医師(9名)および学生(11名)の短期見学を受け入れた。

今年度、大学院生1名が修了した。

病棟看護師向け漢方医学基礎講座、病院全看護師向け講義も前年同様、実施した。

最終年度(平成22年4月～平成23年4月)

**臨床：**前年度末をもって、寺澤捷年教授が定年退職されたため、6月より並木隆雄が和漢診療学研究領域准教授に就任し、後任として教室を主宰していくこととなった。また、大学院生であった平崎能郎は修了して寄附講座教員に着任した。また、新たに高橋久美子(後期研修医)、八木(佐藤)明男(後期研修医)の2名の医師が診療に参加した。

入院診療は平均90%前後の病床稼働率を示した。病棟は、主に王子剛、岡本英輝、植田圭吾、八木(佐藤)明男(4～9月)、島田博文(10月～)木俣有美子および小川恵子らが担当した。

外来は、4月より王子剛が、10月より高橋久美子・永井千草(研修登録医)が、それぞれ開始した。外来は原則午前とし、2-3ブースで診察を行い、平成22年度は、新患者30～40名/月、再来患者750～850名/月のペースであった。

院内活動は、緩和ケアチームに地野充時が新たに所属した。褥瘡対策チームは、地野充

時の緩和ケアチーム移籍に伴って王子剛が新たに所属した。感染対策チームには、並木隆雄に代わって植田圭吾、高橋久美子が活動を開始した。

なお、八木（旧姓佐藤）明男は、内科研修のため9月末で関連病院（鹿島労災病院）に転勤、代わって島田博文が2年間の鹿島労災病院における内科研修を修了して帰院した。年度末をもって小川恵子が金沢大学耳鼻咽喉科学教室（漢方外来）に転出、高橋久美子が退職、木俣有美子が非常勤に職制変更した。

連携病院（当講座からの出向外来）の中で、聖隷佐倉市民病院和漢診療科外来が患者の漸増により週2回では賄いきれなくなり、4月より週3回に増設した（小川恵子医員）。また、柏地区の漢方診療補助のため、辻中病院柏の葉（千葉県柏市）漢方内科外来の診療を開始した。

本年度の柏の葉診療所の補助業務は、並木隆雄の更年期障害専門外来（通年）のみであった。

**研究：** 前年の研究を引き続き実施した。

なお、「低コスト、低侵襲、高性能な生活習慣病診断用新規デバイスの開発・実用化」研究は本年度が最終年度であり、舌所見撮影診断装置（プロトタイプ）の開発を完了した。

また、

- 1) 「漢方薬によるワクチンアジュバント効果の検討と臨床応用」(分担者：並木隆雄. 2010年度厚生労働省科学研究費補助金 医療技術実用化総合研究事業).
- 2) 「漢方の特性を利用したエビデンス創出と適正使用」(分担者：並木隆雄. 2010年度厚生労働省科学研究費助金).
- 3) 「統合医療を推進するための日本伝統医学の標準化」(研究協力者：並木隆雄. 2010年度厚生労働省科学研究費補助金. 医療技術実用化総合研究事業)

の、3件の研究も開始した。

**教育：** 本年度も本学及び他大学の医学部6年次生のクリニカルクラークシップ10名を受け入れ、医学部6年次学生に対する臨床講義、医学科1年次講義、4年次講義、3年次生の見習い実習（2名）、薬学部4年次講義7コマも行った。

また、本年度より、看護学部講義1コマが始まった。

初期研修医（7名）、臨床研修登録医（7名）、医師（5名）及び学生（4名）の短期見学を受け入れた。

今年度、新たに3名の大学院生が入学し、4名となった（内1名は、年度末卒業）

病棟看護師向け漢方医学基礎講座、病院全看護師向け講義も前年同様、実施した。

寄附講座研究成果・業績

**原著**（責任著者）

2005年度

Juzentaihoto, a Kampo medicine, enhances IL-12 production by modulating Toll-like receptor 4 signaling pathways in murine peritoneal exudate macrophages. *Int. Immunopharmacol.*, 5: 871-882 (地野)

Oren-gedoku-to and keishi-bikuryo-gan-ryo inhibit the progression of atherosclerosis in diet-induced hypercholesterolemic rabbits. *Biol. Pharm. Bull.*, 28: 294-298 (関矢)

Inhibitory effects of *Stephania tetrandra* S. MOORE on free radical-induced lysis of rat red blood cells. *Biol. Pharm. Bull.*, 28: 667-670 (関矢)

Inhibitory effects of triterpenes isolated from Chuling (*Polyporus umbellatus* FRIES) on free radical-induced lysis of red blood cells. *Biol. Pharm. Bull.*, 28: 817-821 (関矢)

The effect of Juzen-taiho-to/TJ-48 on the expression of killer-cell immunoglobulin-like receptors (CD158a/b) on peripheral lymphocytes in vitro experiment. *Phytomedicine*, 12: 327-332 (関矢)

Changes of peripheral lymphocyte population in patients with chronic hepatitis C treated with herbal medicine (Maoto) and IFN- $\beta$ . *J. Trad. Med.*, 22: 29-33 (関矢)

The effect of fish oil on physical aggression in schoolchildren--a randomized, double-blind, placebo-controlled trial. *J. Nutr. Biochem.*, 16: 163-171 (寺澤)

Effect of omega-3 fatty acid-containing phospholipids on blood catecholamine concentrations in healthy volunteers: a randomized, placebo-controlled, double-blind trial. *Nutrition.*, 21:705-710 (寺澤)

Vasodilative effect of perillaldehyde on isolated rat aorta. *Phytomedicine.*, 12: 333-337 (寺澤)

A randomized double blind placebo-controlled clinical trial of Hochuekkito, a traditional herbal medicine, in the treatment of elderly patients with weakness N of one and responder restricted design. *Phytomedicine.* 12: 549-554 (寺澤)

Reduction of perception of chronic fatigue in an observational study of patients receiving 12 weeks of kampo therapy. *J. Altern. Complem. Med.* 11: 895-901 (関矢)

Bofutsushosan, a traditional Chinese formulation, prevents intimal thickening and vascular smoothmuscle cell proliferation induced by balloon endothelial denudation in rats. *Biol. Pharm. Bull.*, 28: 2162-2165 (大野)

#### 2006年度

Macrophage-mediated inhibitory effect of *Zingiber officinale* Rosc, a traditional oriental herbal medicine, on the growth of influenza A/Aichi/2/68 virus. *Am. J. Chin. Med.* 34: 157-169 (寺澤)

Effects of eppikahangeto, a Kampo formula, and Ephedrae herba against citric acid-induced laryngeal cough in guinea pigs. *J. Pharmacol. Sci.* 101: 118-125 (寺澤)

Antimetastatic and immunostimulatory properties of fermented brown rice. *J. Trad. Med.* 23: 112-116 (地野)

Effect of d-pseudoephedrine on cough reflex and its mode of action in guinea pigs. *J. Pharmacol. Sci.* 102: 136-142 (寺澤)

Cholesterol-fed rabbit as a unique model of non-alcoholic, non-obese, non-insulin resistant fatty liver disease with characteristic fibrosis. *J. Gastroenterol.* 41: 971-980 (関矢)

Association of remnant-like lipoprotein particles cholesterol with "oketsu" syndrome. *J. Trad. Med.* 23:147-150 (寺澤)

血管内皮細胞障害後の内膜肥厚病変を予防する漢方方剤-防風通聖散を中心にしてー . 日本未病システム学会雑誌別冊 12, 62-64 (大野)

『傷寒論』の成立とその特異性. *日本東洋医学雑誌*, 57, 799-804 (寺澤)

A Case in Roasted Licorice Decoction Proved Markedly Effective in a Patient with Arrhythmia. 20-22, (1) 3, (並木)

#### 2007年度

Developmental changes in time course of recovery from inactivation in L-type calcium currents of rabbit ventricular myocytes. *Am. J. Physiol. Heart Circ. Physiol.* 292: H295-303 (並木)

Inhibitory effect of cinnamaldehyde, derived from Cinnamomi cortex, on the growth of influenza A/PR/8 virus in vitro and in vivo. *Antiviral Res.* 74: 1-8 (寺澤)

Population of CD40L-expressing cells was slightly but not significantly decreased in lymphoid tissues of collagen-induced arthritic mice treated with Hochu-Ekki-To. *Yakugaku Zasshi.* 127: 547-550 (寺澤)

Identification of a predictive biomarker for the beneficial effect of a Kampo (Japanese traditional) medicine keishibukuryogan in rheumatoid arthritis patients. *Clin Biochem.* 40:1113-21 (小川) (寺澤)

No correlation exists between disease activity and the expression of killer-cell immunoglobulin-like receptors in patients with rheumatoid arthritis. *Mediat. Inflamm* (寺澤)

Insights to clinical use of serial determination in titers of cyclic citrullinated peptide autoantibodies. *Mediat. Inflamm.* (寺澤)

肌水分の簡易客観的指標とその漢方臨床における有用性に関する検討. *日本東洋医学雑誌*

58, 1113-1119 (並木)

2008年度

Inhibitory Effect of TNF-alpha Produced by Macrophages Stimulated with Grifola frondosa Extract (ME) on the Growth of Influenza A/Aichi/2/68 Virus in MDCK Cells. Am. J. Chin. Med. 36:1171-83 (寺澤)

A Proteomic Approach for the Diagnosis of 'Oketsu' (blood stasis), a Pathophysiologic Concept of Japanese Traditional (Kampo) Medicine. Evid. Based Complement. Alternat. Med. 5: 463-474 (小川)

Evidence-based efficacy of kampo formulas in a model of non alcoholic Fatty liver. Exp. Biol. Med. 233: 328-337 (寺澤)

2009年度

補剤投与症例の QOL に関する研究 - 十全大補湯と八味地黄丸の比較 - . 漢方と最新治療・18 (1), 63 - 70 (久永)

入院での漢方薬処方取扱いの問題点 - 一薬剤師及び病棟看護師に対するアンケート調査からの検討 - . 日本東洋医学雑誌, 60, 2, 185 - 193 (並木)

煎じ薬の調剤の現状と問題点 - 保険調剤薬局に対するアンケート調査による検討 - . 日本東洋医学雑誌, 60, 6, 595 - 606, (大野)

2010年度

Wnt2 Expression and Signaling Is Increased by Different Classes of Antidepressant Treatments. Biological Psychiatry. 68(6):521-527 (岡本)

Early detection of disease-oriented state from hyperspectral tongue images with principal component analysis and vector rotation. Conf Proc IEEE Eng Med Biol Soc. 1:3025-8 (並木)

Transient receptor potential vanilloid subtypel (TRPV1) チャネル刺激によるラット胃粘膜血流の増大反応における内因性一酸化窒素 (NO) / 神経型 NO 合成酵素の関与, 潰瘍, 37, 2, 140-143 (来村) (並木)

## **症例報告**

2005 年度

梔子柏皮湯が奏功したパニック障害の 3 症例. 日本東洋医学雑誌, 56 : 97-101, (関矢)

強直性脊椎炎に対する烏頭剤の使用経験. 日本東洋医学雑誌, 56 : 281-286, (関矢)

早期胃癌に対する幽門側胃切除後の食思不振に香蘇散合六君子湯が奏功した一例. 日本東洋医学雑誌, 56, 577-583, (寺澤)

補中益気湯合桂枝茯苓丸が B 型慢性肝炎に有効であった 2 症例. 日本東洋医学雑誌, 56, 585-590, (寺澤)

臍疝痛を主訴とする起立性調節障害に対する安中散の応用. 漢方の臨床, 52(9), 1313-1317, (関矢)

真武湯が奏功したアレルギー性鼻炎の 2 症例. 日本東洋医学雑誌, 57, 213-216, (関矢)  
腸癰湯が有効であった 9 症例に基づく使用目標の検討. 日本東洋医学雑誌, 57, 443-447, (関矢)

#### 2006 年度

真武湯が奏功したアレルギー性鼻炎の 2 症例. 日本東洋医学雑誌, 57, 213-216, (関矢)  
九味檳榔湯の使用目標と適応症. 日本東洋医学雑誌, 57, 333-338, (関矢)  
腸癰湯が有効であった 9 症例に基づく使用目標の検討. 日本東洋医学雑誌, 57, 443-447, (関矢)  
漢方治療が有効であった肺 *Mycobacterium fortuitum* 感染症の一例. 結核, 81, 525-529, (関矢)

滋陰至宝湯の使用目標. 日本東洋医学雑誌, 57, 661-667, (関矢)  
進行癌に対する漢方随証治療の効果. 漢方の臨床, 53, 2043-2053, (関矢)  
腹部膨満感に芍帰調血飲が奏効した二例. 漢方の臨床, 53, 2054-2059, (檜山)  
慢性頭痛の予防療法としての抑肝散加陳皮半夏の応用. 日本東洋医学雑誌, 58, 277-283, (関矢)

#### 2007 年度

三黄湯（千金方）が有効と思われた 2 例. 日本東洋医学雑誌 58, 57-60, (平崎)  
和漢薬治療が奏効した繊維筋痛症の二症例. 日本東洋医学雑誌, 58, 61-68, (関矢)  
慢性頭痛の予防療法としての抑肝散加陳皮半夏の応用. 日本東洋医学雑誌, 58, 277-283, (関矢)  
半夏厚朴湯の使用目標の検討—肩甲間部痛・違和感について—. 日本東洋医学雑誌, 58, 481-485, (関矢)  
慢性蕁麻疹の漢方治療奏効例における心理的背景に関する「問診」の重要性. 日本東洋医学雑誌, 58, 723-728, (関矢)  
梔子柏皮湯の適応徴候について. 漢方の臨床, 54, 120-122, (檜山)  
附子粳米湯合小陷胸湯が奏効した胸水貯留の 1 例. 漢方の臨床, 54, 254-260, (平崎)  
随証治療が奏効した小児腹痛の 1 例. 漢方の臨床, 54, 431-436, (笠原)  
白虎加人参湯が奏効した感冒の 2 症例. 漢方の臨床, 54, 1265-1268, (関矢)  
漢方治療が奏効した不育症の一例. 漢方の臨床, 54, 1415-1418, (関矢)  
漢方治療が短期間で奏効した精神神経症状を呈した親子例. 漢方の臨床, 54, 1555-1559,

(関矢)

2008 年度

中建中湯による瞑眩の一症例. 漢方の臨床. 55, 391-395, (地野)

麗沢通気湯加辛夷が奏功した常習性頭痛, 気管支喘息, 気管支アミロイドーシスの三治験.  
日本東洋医学雑誌, 59, 303-307, (寺澤)

解勞散が奏功した喉頭肉芽腫の一例. 日本東洋医学会雑誌. 59, 297-301, 2008. (関矢)

漢方治療が奏効した夫婦例. 漢方の臨床. 55, 863-866, 2008. (関矢)

防已黄耆湯の使用目標に関する一考察. 日本東洋医学雑誌. 59, 623-631, (関矢)

四逆湯加減方により長時間安定した経過を維持しえた短腸症候群の 1 例. 日本東洋医学雑誌. 59, 641-645, (小川)

漢方治療が奏効した小児陰囊水腫の一症例. 日本東洋医学雑誌. 59, 647-649, (大野)

西洋医学的には難治性であった便通異常に延年半夏湯が奏効した一例. 漢方の臨床.  
55, 737-739, (王子)

メシル酸イマチニブの副作用である下痢に半夏瀉心湯が有効であった 1 例. 日本東洋医学雑誌, 59 卷, 727-731, (地野)

寒冷刺激による頭痛に麻黄附子細辛湯が有効であった一例. 漢方研究. 8, (来村)

アトピー性皮膚炎と夏ばてに白虎湯と黄連解毒湯が有効であった一例. 漢方研究. 7-8, (来村)

清湿化痰湯治験. 日本東洋医学雑誌. 59, 623-631, (関矢)

補気剤の投与により起立性調節障害及び不登校が改善した一例. 漢方の臨床. 55, 1829-1834,  
(地野)

Bath related headache と診断されていた椎骨動脈瘤解離の 1 例. 日本頭痛学会誌. 36,  
(来村)

Efficacy of Kampo Medicine to Advanced Cancer . Journal of Kampo Medicine. English  
Edition 2-9 (関矢)

呉茱萸湯著効例の呈した症状に基づいた使用目標の検討. 漢方の臨床. 55 卷, 709-714 (関  
矢)

無症候性脳梗塞に対する桂枝茯苓丸の 3 年間投与後の効果. 日本東洋医学雑誌. 59, 471-476  
(寺澤)

晩発性のアルツハイマー型認知症患者における頭痛に対する釣藤散の有用性. 老年精神医学雑誌 19 (10) : 1113-1118 (久永)

Cases of Mother and Child with Psychoneurotic Symptoms Successfully Treated with Kampo  
Therapy in a Short Term. 16 - 18, Journal of Kampo Medicine (関矢)

2009 年度

不眠の一例. 漢方の臨床, 56, 2, 261-263, 東京, (関矢)

加味逍遥散加地骨皮荊芥が奏効した難治性皮膚疾患の2症例. 漢方の臨床, 56, 3, 459-462, 東京, (関矢)

帰耆建中湯加烏頭が有効であった術後腰部脊柱管狭窄症の1例. 日本東洋医学雑誌, 60, 2, 167 - 170, (小川)

線維筋痛症に対し白虎湯加味方が著効した症例. 日本東洋医学雑誌, 60, 2, 171 - 175, (橋本)

閉塞性動脈硬化症による間欠性跛行と下肢腫瘍に自家製桂枝茯苓丸と大柴胡湯が著効した一例. 日本東洋医学雑誌, 60, 3, 365 - 369, (来村)

腎癌術後の腹部症状に漢方治療が奏効した一例. 日本東洋医学雑誌, 60, 3, 385 - 389, (笠原)

漢方治療が奏効したガングリオンの一例. 漢方の臨床, 56, 4, 653-658, (木俣)

原因不明の反復性嘔吐に対し五苓散が奏効した一症例. 漢方の臨床, 56, 4, 649-652, (地野)

慢性連日性頭痛に五苓散が有効であった1症例. 漢方医学, 33, 375-377, (来村)

桂枝茯苓丸加薏苡仁治験. 漢方の臨床, 56, 6, 991-996, (関矢)

滋陰至宝湯治験. 漢方の臨床, 56, 7, 1115-1126, (関矢)

長年持続していた下痢にたいして甘草瀉心湯が奏効した2症例. 漢方の臨床, 56, 7, 1143-1148, (大野)

肘後方奔豚湯加味方が突発性難聴に伴うめまいに著効した1例. 漢方の臨床, 56, 7, 1149-1158, (小川)

帰耆建中湯加味を関節リウマチに応用する試み. 漢方の臨床, 56, 8, 1301-1308, (関矢)

気うつを伴った凍瘡に対する茯苓飲合半夏厚朴湯および半夏厚朴湯の応用. 日本東洋医学雑誌, 60, 4, 443 - 447, (関矢)

開腹術後愁訴に対し香蘇散料が有効であった2症例. 日本東洋医学雑誌, 60, 4, 459 - 463, (地野)

桂枝加苓朮附湯の関節外症状への応用. 日本東洋医学雑誌, 60, 4, 465 - 469, (関矢)

五苓散が奏効した帯状疱疹後神経痛の一例. 漢方の臨床, 56, 9, 1497-1499, (関矢)

疼痛管理が困難であった発作性・反復性下腹部痛に対し柴胡桂枝湯が奏効した2症例. 漢方の臨床, 56, 9, 1479-1486, (地野)

奔豚と思われた諸症状に呉茱萸湯エキスと苓桂朮甘湯エキスの併用が奏効した6症例. 日本東洋医学雑誌, 60, 5, 519 - 525, (笠原)

清熱補気湯と白虎加桂枝湯の併用が奏効した結節性紅斑の一症例. 日本東洋医学雑誌, 60, 5, 539 - 543, (大野)

神経因性膀胱に対し半夏白朮天麻湯が著効した1症例. 日本東洋医学雑誌, 60, 6, 607 - 610, (橋本)

浮脈を呈する症例に対する苓甘姜味辛夏仁湯治験. 日本東洋医学雑誌, 60, 6, 6 41 - 646,  
(関矢)

早期退院に対する漢方治療の寄与～外科治療後の合併症のため退院が遷延した症例に漢方薬が奏功した3例. 漢方の臨床, 56, 11, 1849-1858, (並木)

竜骨湯治験. 漢方の臨床, 56, 11, 1867-1871, (関矢)

当帰湯エキス製剤で管理し得た西洋薬が使用困難だった微小血管狭心症の1例. 漢方の臨床, 56, 12, 2071 - 2076, (並木)

七物降下湯治験. 漢方の臨床, 56, 12, 2077 - 2084, (関矢)

A Case of Atopic dermatitis successfully treated with jumentaihoto (KAMPO).

Alternativetherapies. A peer-reviewed. journal. JAN/FEB2010. vol. 16. No1. 62-64 (地野)

和漢薬治療が奏効した Wells' s 症候群の一症例. 日本東洋医学雑誌, 61, 1, 45-50, (地野)

切迫流早産に補中益気湯が有効であった1例. 日本東洋医学雑誌, 61, 1, 32-35, (小川)

甘連石膏湯が奏効した体感異常の一例. 漢方の臨床, 57, 1, 111-114, (関矢)

補剤投与症例の QOL に関する研究 - 十全大補湯と八味地黄丸の比較 - . 漢方と最新治療・18 (1) 63 - 70. (久永)

Hochuekkito improves systemic inflammation and nutritional status in elderly patients with chronic obstructive pulmonary disease. J. Am. Geriatr. Soc. 57:169-170 (関矢)

茯苓飲合半夏厚朴湯治験. 日本東洋医学雑誌, 60, 2, 145 - 150 (関矢)

An adult mortal case of cardiac tamponade due to rupture of coronary artery aneurysm related to Kawasaki disease in infancy; CVD prevention and control. S132 Vol.4 Suppl (並木)

夏バテに対する漢方方剤の使用目標に関する一考察. 漢方の臨床 56, 5, 821-830 (関矢)

## 2010 年度

A Case of Atopic dermatitis successfully treated with jumentaihoto (KAMPO).  
Alternative therapies. A peer-reviewed. journal, 16(1):62-64 (地野)

動静脈瘤による多発性難治性両側下腿皮膚潰瘍に対し和漢薬治療が奏効した一例. 日本東洋医学会雑誌, 61, 3, 325-330 (地野)

和漢薬治療が奏効した Wells' s 症候群の一症例. 日本東洋医学雑誌, 61, 1, 45-50 (地野)

切迫流早産に補中益気湯が有効であった1例. 日本東洋医学雑誌, 61, 1, 32-35 (小川)

動静脈瘤による多発性難治性両側下腿皮膚潰瘍に対し和漢薬治療が奏効した一例. 日本東洋医学雑誌, 61, 3, 325-330 (地野)

慢性咳嗽に防己黄耆湯加麻黄が有効であった4例. 日本東洋医学雑誌, 61, 3, 337-344 (小川)

疎経活血湯が奏効した視床痛の一例. 千葉県医師会雑誌, 62, 9, 480 (佐藤)

## 総説

2005 年度

Kampo (Japanese Oriental) Medicine and Atherosclerosis. Commentary for International Atherosclerosis Society Website. (関矢)

随証治療・その将来の展望. 日本東洋医学雑誌, 56(6), 879-892 (寺澤)

漢方の考え方(証)とは病ではなく人を診る体系. 千葉医学雑誌, 283-285 (寺澤)

2006 年度

高血圧と漢方薬, 血圧, 13, 193-197 (並木)

循環器疾患の漢方薬の RCT, 漢方と最新治療, 15, 91-97 (並木)

コアカリキュラムと和漢薬教育, 治療学, 40, 357-361 (関矢)

21 世紀の女性医療における漢方の役割, 産婦人科治療, 92 Suppl, 465-470 (関矢)

小児アレルギー疾患における漢方療法, 小児科, 47 (関矢)

Chotosan and cerebrovascular disorders: Clinical and experimental studies. J. Trad. Med. 23, 117-131 (寺澤)

東洋医学の普遍性を如何に担保するか—異なったパラダイムの和諧を求めて—, 日本薬理誌, 128, 389-394 (寺澤)

高齢者医療と漢方. 日本内科学会雑誌, 95, 3, 27-34 (寺澤)

2007 年度

『方伎雑誌』における尾台榕堂の処方運用法の特徴～とくに兼用と交互服用の症例について～. 漢方の臨床, 54, 575-584 (並木)

2008 年度

循環器疾患 - 胸痛を中心に -. 漢方と最新治療. 17巻, 4 (67), 253-258 (並木)

2009年度

『傷寒論』における腹診とその臨床的発展. 漢方の臨床, 56, 4, 649-652 (並木)

2010 年度

Expression of the histamine H4 receptor in human tissues and its clinical role. Nippon Yakurigaku Zasshi. 135(6):235-9 (並木)

東洋医学の広場. 急性疾患に対して漢方はどこまで対応できるか. 日本東洋医学雑誌, 61, 1, 57 (並木)

心身医学の挑戦 心療内科からすべての診療科へ 心身医学的アプローチ 漢方治療, 綜

合臨床, 59, 11, 2286-2293 (奥見)

漢方医学と西洋医学の接点. JOHNS, 26, 4, 543-545, 東洋医学社 (笠原)

特集女性にやさしい漢方療法 これからの女性医療と漢方. 婦人科治療, 100, 987-991, 永井書店 (小川)

更年期障害におけるER $\beta$  遺伝子多解析と臨床応用. 漢方と最新治療, 19, 4, 341-348, 世論時報社 (並木)

太腸病における寒熱「表寒・表熱」を考える, 漢方の臨床, 57, 5, 795-801 (並木)

地域医療のヒント. 漢方の臨床, 57, 6, 1000-1006 (来村)

## 著書

2005 年度

高齢者のための和漢診療学 医学書院 (寺澤)

漢方薬. 治療薬マニュアル 2005 医学書院 (寺澤)

漢方の考え方 (証) とは. Science Journal KAGAKU 科学 岩波書店 (寺澤)

東洋医学・代替相補医療. 新家庭の医学 株式会社時事通信社 (寺澤)

第 12 章 漢方医学の基礎. スタンダード薬学シリーズ 3 日本薬学会編 化学系薬学 東京化学同人 (寺澤)

女性医療と漢方医療 1. 21 世紀の女性医療における漢方の役割 永井書店 (関矢)

特集 補完・代替療法 高血圧症と漢方薬 株式会社先端医学社 (並木)

2006 年度

漢方薬. 治療薬マニュアル 2006 医学書院 (寺澤)

漢方薬の現状と問題点. 内科学 医学書院 (寺澤)

「木を見て森も見る」和漢診療学. 漢方 2006 週間朝日 (寺澤)

今日の処方 改訂第 4 版 南江堂 (寺澤)

2007 年度

治療薬マニュアル 2007 医学書院 (寺澤)

治療薬 UP-TO-DATE 2007 メディカルレビュー社 (寺澤)

特集にあたって. 漢方と EBM メディカルレビュー社 (寺澤)

EBM 漢方 改訂第 2 版 医歯薬出版 (寺澤) (関矢)

漢方内科・循環器疾患 メディカルユーコン (並木)

漢方内科・代謝・栄養障害 メディカルユーコン (並木)

完訳 方伎雑誌 たにぐち書店 (寺澤)

図解穴道指圧按摩百科 楓書坊文化出版 (寺澤)

高齢者のための和漢診療学 アニムス, 三菱化学メディエンス株式会社 (寺澤)

2008 年度

- 広辞苑第 6 版 岩波書店 (寺澤)
- ポケット版 治療薬 UP-TO-DATE 2009 メディカルビュー社 (寺澤)
- 「今日の健康」 NHK 出版 (寺澤)
- 医学の窓, 感冒・インフルエンザと漢方 19 千葉県医師会雑誌 第 60 巻 NO. 11 (寺澤)
- 漢方医療とは何か-〈証〉を理解する- 臨床婦人科産科 医学書院 (笠原)
- カリスマ医師 50 人のワザ 小学館 (寺澤)
- アレルギー疾患の代替医療 アレルギー疾患の漢方療法とは? 丹水社 (地野)
- 婦人科治療 漢方医学教育の現状 永井書店 (小川)
- ポケット版 治療薬 UP-TO-DATE 2009 メディカルビュー社 (寺澤)
- 散歩の効用 Aging & Health 財団法人長寿科学振興財団 (寺澤)

2009 年度

- 別冊NHK きょうの健康 生活習慣病の薬 気になる 知りたい 効果と副作用 NHK 出版 (寺澤)
- 治療薬の基礎知識 第 8 回 漢方薬 鼻アレルギーフロンティア メディカルビュー社 (笠原)
- 脊椎管狭窄症の漢方治療 千葉県医師会雑誌 第 61 巻 No3 (寺澤)
- 漢方薬のエビデンス 釣藤散—慢性頭痛 臨床と研究 86 巻 5 号 大道學館出版部 (来村) (寺澤)
- イチヨウ葉エキスの認知症予防効果に関するランダム化比較試験 Cognition and Dementia Vol. 8, no2 メディカルビュー社 (久永)
- 診断方法および随証治療 治療 Vol. 91, No6, 南山堂 (地野)
- 総合医に必要な漢方の概念 診療と治療 vol. 97-No. 8 診断と治療社 (橋本)
- 症状・症候に対する漢方治療 不安神経症・不眠症 診療と治療 vol. 97-No. 8 診断と治療社 (久永)
- 症状・症候に対する漢方治療 高血圧症 診療と治療 vol. 97-No. 8, 診断と治療社 (並木)
- 釣藤散—慢性頭痛 月刊臨床と研究 (来村)
- 皮膚科領域での漢方エビデンスの活用法—日本東洋医学会の『漢方治療エビデンスレポート 2009-320 の RCT』について— フレグランス ジャーナル (並木)
- 千葉大学における漢方教育 漢方と最新治療 第 18 巻, 第 4 号 (笠原)

2010 年度

- これだけは知っておきたい実践診療のコツ 循環器疾患漢方治療マニュアル. 現代プランニング (並木)
- 食物アレルギー. 臨床粘免疫学 シナジー (平崎)

学会報告 (講演者または筆頭演者)

2005 年度

- 第 56 回日本東洋医学会学術総会 (寺澤) (林) (関矢) (笠原) (地野)  
第 80 回日本結核病学会総会 (関矢)  
第 22 回和漢医薬学会大会 (寺澤) (並木) (関矢) (林) (大野)  
第 62 回日本東洋医学会関東甲信越支部学術総会 (寺澤) (関矢) (笠原) (地野) (大野)  
第 10 回日本心療内科学会総会・学術大会 (寺澤)  
第 12 回日本未病システム学会総会 (大野)  
第 15 回日本東洋医学会埼玉県部会 (笠原)  
The 13th International Congress of Oriental Medicine (関矢)

2006 年度

- 第 57 回日本東洋医学会学術総会 (寺澤) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (林) (大野)  
第 23 回和漢医薬学会大会 (関矢) (地野)  
第 16 回漢方治療研究会 (檜山) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (林) (大野)  
産婦人科漢方研究会学術集会 (平崎)  
第 63 回関東甲信越支部学術総会 (檜山) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (林) (大野)  
第 50 回日本薬学会関東支部大会 (寺澤)  
天然薬物の開発と応用シンポジウム (地野)  
日本小児アレルギー学会 (寺澤)  
第 83 回日本消火器内視鏡学会関東地方会 (寺澤)  
日本東洋医学会・埼玉県部会 (笠原)

2007 年度

- 日本東洋医学会学術総会 (並木) (檜山) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (林) (落合) (大野)  
第 17 回漢方治療研究会 (橋本) (王子)  
第 24 回和漢医薬学会大会 (寺澤) (並木) (笠原) (関矢) (地野) (平崎) (林) (大野)  
日本東洋医学会 第 64 回関東甲信越支部学術総会 (並木) (笠原) (地野)  
第 64 回日本循環器心身医学会 (寺澤)  
JUZENTAIHOTO MODULATES THE TOLL-LIKE RECEPTOR 4 SIGNALING PATHWAYS, International Congress of Toxicology, 2007, 7, Montreal, Canada (地野)  
The Traditional Japanese Kampo Formula keishibukuryogan Ameliorates Steatosis, Reduces Oxidative Stress and Inflammation, and Ultimately Prevents Liver Fibrosis

in a Rabbit Model of Non Alcoholic Steatohepatitis., The 58th Annual Meeting of The American Association for The Study of Liver Diseases, 2007, 11, Boston (寺澤)

Evidence-Based Efficacy of Kampo Formulas on Liver Pathology in a Rabbit Model of Non Alcoholic Fatty Liver Disease., The 14th International Congress of Oriental Medicine, 2007, 12, Taipei (関矢)

Efficacy of Bofutsushosan on Treatment for RLP-cholesterol in Patients with Obesity., The 14th International Congress of Oriental Medicine , 2007,12, Taipei (並木)

Proceedings of 11th International Symposium on Traditional Mdicine (寺澤)

日本東洋医学会 埼玉県部会 (笠原)

第 22 回 千葉集中治療研究会 (笠原)

第 44 回日本東洋心身医学研究会 (奥見)

第 10 回天然薬物研究方法アカデミープログラム (並木)

第 11 回国際伝統医薬シンポジウム富山 [2007] (寺澤)

#### 2008 年度

International Conference on Traditional Nursing (寺澤)

第 50 回日本老年医学会学術集会 (寺澤)

第 13 回日本緩和医療学会学術大会 (関矢) (橋本) (林)

第 13 回日本老年精神医学大会 (久永)

59 回日本東洋医学医会学術総会 (寺澤) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (小川) (来村) (橋本) (大野) (林) (檜山) (小川 (真)) (久永)

第 25 回和漢医薬学会学術大会 (寺澤) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (大野) (来村) (小川) (橋本) (久永)

第 18 回 漢方治療研究会 (寺澤) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (大野) (来村) (小川) (橋本) (木俣) (奥見) (島田)

第 65 回関東甲信越支部学術総会 (寺澤) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (平崎) (大野) (来村) (小川) (橋本) (木俣) (奥見) (島田) (久永)

#### 2009 年度

AN ADULT MORTAL CASE OF CARDIAC TAMPONADE DUE TO RUPTURE OF CORONARY ARTERY ANEURYSM RELATED TO KAWASAKI DISEASE IN INFANCY17th Asia pacific congress of cardiology (並木)

第 26 回和漢医薬学会学術大会 (寺澤) (並木) (関矢) (笠原) (地野) (小川) (木俣) (来村) (奥見) (岡本) (植田) (島津)

The 15th International Congress of Oriental Medicine (寺澤) (笠原) (関矢) (地野) (並木) (平崎) (岡本) (植田) (来村) (奥見) (大野) (木俣) (小川)

第 60 日本東洋医学会学術総会 (寺澤) (関矢) (並木) (笠原) (地野) (平崎) (小川)  
(来村) (橋本) (奥見) (木俣) (久永) (大野)

日本東洋医学会 第 66 回関東甲信越支部学術総会 (並木) (地野) (笠原) (植田) (岡本)  
(関矢) (平崎) (木俣) (島津) (久永)

2010 年度

14<sup>th</sup> International Congress of Immunology (平崎)

The 15th International Congress of Oriental Medicine (笠原) (関矢) (地野) (並木)  
(平崎) (寺澤) (植田) (岡本) (大野) (来村) (奥見) (木俣) (小川) (久永)

第 61 回日本東洋医学会学術総会 (来村) (並木) (笠原) (地野) (岡本) (小川) (奥見)  
(木俣) (植田) (王子) (平崎)

第47回日本小児外科学会学術集会 (小川)

第27回和漢医薬学会学術大会 (王子)

第20回漢方治療研究会 (平崎) (佐藤)

日本東洋医学会第67回関東甲信越支部学術総会 (岡本) (地野) (平崎) (木俣) (植田)  
(小川) (王子) (高橋) (佐藤) (笠原) (並木)

第48回日本癌治療学会学術集会 (小川) (木俣)

第15回日本心療内科学会学術大会 (奥見)

**講演会など** (講演者)

2005 年度

第 33 回内科学の展望「高齢化時代の内科学」(寺澤)

第 10 回日本心療内科学会総会・学術大会 (寺澤)

第 12 回日本未病システム学会総会 (寺澤)

性差医療・医学研究会第 3 回学術集会 特別講演 (寺澤)

第 27 回医学生・研修医のための東洋医学セミナー (寺澤) (地野)

臨床研修指導医のための漢方医学セミナー (寺澤)

諏訪中央病院臨床セミナー (寺澤)

東洋医学卒前セミナー (寺澤)

東洞祭 特別講演 (寺澤)

SAITAMA KAMPO MEETING 特別講演 (寺澤)

第 125 回千葉市医師会内科医会 特別講演 (寺澤)

The 13th International Congress of Oriental Medicine (関矢)

鹿島労災病院第 237 回臨床カンファレンス 特別講演 (寺澤)

千葉大学市民公開講演会 (寺澤)

長野県飯田市民講座 (寺澤)

名古屋市立大学大学院講義（寺澤）  
臨床研修指導医のための漢方医学セミナー（寺澤）（関矢）（地野）  
（財）日本薬剤師研修センター平成 17 年度 漢方薬・生薬研修会（寺澤）  
第 59 回 千葉大学東洋医学自由講座 第 10 回講演（並木）  
亥鼻祭公開講演会（寺澤）  
聖隷佐倉市民病院公開講座（寺澤）  
成東病院公開講座（寺澤）  
亀田総合病院公開講座（寺澤）  
漢方ステップアップセミナー（関矢）  
KAMPO MEDICAL SYMPOSIUM 2006（寺澤）  
漢方医学教育カンファレンス 2006（並木）  
第 32 回 千葉東洋医学シンポジウム（寺澤）  
立正佼成会附属佼成病院和漢診療学講演会（寺澤）  
広島和漢薬セミナー 特別講演（寺澤）

## 2006 年度

第 50 回日本薬学会関東支部大会（寺澤）  
第 14 回茨城県部会学術集会（寺澤）  
天然薬物の開発と応用シンポジウム（地野）  
日本小児アレルギー学会（寺澤）  
第 83 回日本消化器内視鏡学会関東地方会（寺澤）  
日本薬学会（寺澤）  
千葉大学東洋医学自由講座 開講六十周年記念講演（寺澤）  
第 60 回千葉大学東洋医学自由講座 1～11（寺澤）（並木）  
平成 18 年度千葉大学大学院薬学研究院・薬友会 第 1 回卒後教育研修講座（寺澤）  
千葉大学東洋医学自由講座開講 60 周年記念座談会（並木）  
千葉市医師会学術講演会（寺澤）  
東邦大学薬学部漢方フォーラム（並木）  
第 82 回千葉医学会学術大会 特別講演（寺澤）  
第 3 回関東甲信越整形外科漢方研究会（寺澤）  
平成 18 年度千葉大学大学院薬学研究院・薬友会 第 3 回卒後教育研修講座（笠原）  
弘前大学漢方教育セミナー（寺澤）  
第 20 回医学生のための漢方医学セミナー（並木）  
第 9 回東京臨床漢話会（檜山）  
平成 18 年度千葉大学大学院薬学研究院・薬友会 卒後教育研修講座（檜山）（並木）（関矢）  
（地野）（林）

漢方檜山塾（檜山）

平成 18 年度 医学部・医科大学学生のための卒前教育. 日本東洋医学会（寺澤）

紀南「ファーストステップ」KANPO セミナー（地野）

第 3 回御茶ノ水東洋医学フォーラム（寺澤）

2006 年温知地会講義 招待講演（寺澤）

第 6 回金沢医科大学小児科地域連携症例検討会 特別講演（寺澤）

診療の幅を広げる 市川漢方セミナー（檜山）

第 58 回日本自律神経学会総会（寺澤）

フィジカルアセスメント 研修会 ～循環器系～（並木）

さいたまおけらの会 特別講演（寺澤）

第一回統合医療セミナーin 名古屋（寺澤）

漢方ステップアップセミナーIN 房総（笠原）（地野）

東京大学総合講義（寺澤）

臨床医学研究助成会講演会（寺澤）

ウイミンズウェルネ銀座クリニック勉強会（地野）

日本薬学会第 127 年会（寺澤）

2007 年度

第 104 回沖縄県医学会総会集会（寺澤）

第 64 回日本循環器心身医学会（寺澤）

フィジカルアセスメント～循環器～研修会（並木）

Proceedings of 11th International Symposium on Traditional Mdicine（寺澤）

第 22 回函館東洋医学研究会症例検討会・総会・特別総会 第 12 日本東洋医学会北海道支部道南部会研究会（並木）

日本東洋医学会 九州支部 福岡県部会主催教育講演会（寺澤）

日本東洋医学会北陸支部特別講演会（関矢）

第 23 回生薬に関する懇談会 日本生薬学会関東支部・社団法人東京生薬協会（関矢）

第 61 回千葉大学東洋医学自由講座, 1～12（寺澤）（並木）

第 48 回三多摩漢方研究会（寺澤）

第 3 回千葉・女性医療と漢方を考える会（寺澤）

第 48 回三多摩漢方臨床研究会（寺澤）

第 14 回浜松東洋医学研究会（寺澤）

島根漢方教育診療研究会（寺澤）

第 10 回天然薬物研究方法アカデミープログラム（並木）

母性の会（寺澤）

臨床研修指導医のための漢方医学セミナー（笠原）（地野）

北里セミナー（寺澤）  
東洋医学セミナー（寺澤）  
船橋漢方学術講演会（寺澤）  
柏市医師会学術講演会（寺澤）  
傷寒・金匱ラウンドディスカッション（並木）  
市川市漢方学術講演会（寺澤）  
松戸漢方講演会（寺澤）  
第 11 回国際伝統医薬シンポジウム富山〔2007〕（寺澤）  
千葉県鍼灸師会学術講習会（寺澤）  
富山市医師会合同学術講演会（寺澤）  
茂原市長生郡医師会学術講演会（寺澤）  
漢方入門セミナー in 盛岡（地野）  
第 5 回愛宕漢方医学研究会（並木）  
第 150 回癌研有明病院学術講演会（寺澤）  
第 3 回房総精神科漢方研究会（並木）  
日本合板商業組合講演会（寺澤）  
第 16 回母乳育児シンポジウム プログラム「地域で支える母乳育児」（寺澤）  
漢方セミナーin 盛岡（笠原）  
第 3 回保健・医療従事者研修会（寺澤）  
フォーラム 21・日本の医療を考える会（寺澤）  
平成 20 年 大学勤務医のための漢方セミナー（札幌）（笠原）（地野）

#### 2008 年度

平成 20 年度第 5 回東洋医学研究会（地野）  
平成 20 年度第 1 回北海道地区教育講演会（寺澤）  
平成 20 年度 漢方薬・生薬研修会（寺澤）  
第 9 回富山大学看護学会学術集会（寺澤）  
第 62 回千葉大学東洋医学自由講座, 第 1 回講演（寺澤）  
平成 20 年度千葉大学薬学部 卒後教育研修講座（地野）  
日本医史学 5 月例会（寺澤）  
第 3 回卒後教育研修講座（小川）  
島根漢方教育診療研究会（寺澤）  
平成 20 年度千葉県ものはな会総会 特別講演（寺澤）  
静岡ものはな会総会 特別講演（寺澤）  
第 30 回医学生・研修医のための東洋医学セミナー（寺澤）  
第 22 回医学生のための漢方医学セミナー 特別講演（笠原）

平成 20 年度 千葉大学みのはな同窓会埼玉県支部総会 (寺澤)  
杏林大学 特別講演 (寺澤)  
安房みのはな会総会 特別講演 (寺澤)  
平成 20 年千葉大学校友会総会 (寺澤)  
診て聴いて触れる漢方ステップアップセミナー (久永)  
第 50 回日本老年医学会 (寺澤)  
KAMPO MEDICAL SYMPOSIUM 2009 (寺澤)  
平成 20 年度千葉市市民大学健康医学講座 (寺澤)  
市民公開講座「和漢の知恵とアレルギーの不思議」 第 7 回国際天然薬物と消化管エコロ  
ジーシンポジウム (寺澤)  
第 63 回千葉大学東洋医学自由講座 1-13 (寺澤)  
フィジカルアセスメント ～循環器～ 研修会 (並木)  
KAMPO MEDICAL SYMPOSIUM 2009 (寺澤)  
第 5 回 松戸漢方研究会 (久永)  
精神看護の会 (うりんぼう) (笠原)  
平成 20 年度研究成果報告会 (並木)

#### 2009 年度

EBM からみた漢方医学とアンチエイジング～最近の話題 (並木)  
第 1 回神奈川漢方談話会 (久永)  
ちば和漢連続ナビゲーション 2009 1～6 (寺澤) (久永) (来村) (地野) (小川) (笠原)  
平成 21 年度 千葉大学 (医学部・附属病院) 公開講座 (寺澤)  
平成 21 年度 市民講演会 (並木)  
第 18 回千葉大学薬学院・薬友会 生涯教育セミナー・宮木高明記念講演 (寺澤)  
第 2 回神奈川県 4 大学 FD フォーラム・漢方医学合同研修会 (寺澤)  
東葛漢方アカデミー, ～漢方をはじめて学ぶ先生のために～ (地野)  
島根漢方教育研究会 (寺澤)  
実技実践セミナー (笠原) (地野)  
2009 年度医学生のための漢方医学セミナー 特別講演 (並木)  
平成 21 年度千葉大医学部みのはな同窓会埼玉県支部会 (寺澤)  
日本東洋医学会北海道支部学術大会 (寺澤)  
第 63 回千葉大学東洋医学自由講座 1-13 (笠原) (地野) (並木)  
日本東洋医学会北海道支部第 2 回教育講演会 (地野)  
第 29 回看護科学学会学術集会 市民フォーラム (寺澤)  
千葉大学病院看護部院内教育講座 (笠原)  
千葉北総漢方カンファレンス 第 1 回 (笠原)

第 36 回千葉東洋医学シンポジウム（寺澤）（地野）

第 35 回県職女性につどい（小川）（木俣）

平成 21 年度研究成果報告会（並木）

2010 年度

第14回和漢診療学シンポジウム（島田）（小川）

千葉大学病院看護部 院内教育講座（笠原）

第64回千葉大学東洋医学自由講座（笠原）（地野）（並木）

千葉市薬剤師会 漢方スキルアップ研修会（笠原）（地野）（並木）

基礎から学ぶ漢方医学入門（地野）

千葉北総漢方カンファレンス 第2回～第3回（笠原）

日本東洋医学会 平成 22 年度 北海道支部函館地区 学術講演会（笠原）

函館漢方講演会（笠原）

千葉市民文化大学冬季集中講座（並木）

ちば漢方入門セミナー（笠原）（地野）

漢方スキルアップセミナー（地野）